

令和初!!

あおやまマガジン

第39号
5月発行

JSSあおやまスイミングスクール
盛岡市青山3丁目7-24 電話019-645-0101
営業時間 月～金 9:30～20:30
土 8:30～20:00 *日曜定休

新年号!『令和』の由来って!?どんな願いが込められているの!?

～令和の由来を知ってる!?～

2019年4月1日、11時40分に新年号が『令和』になると発表されました。これまでの元号は中国の古典から出典されてきたそうですが、『令和』は、初めて日本の古典の万葉集(梅の花32首の序文)から出典!!「時、初春の令月(れいげつ)にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。」この詩を現代語で表すと、「春の初めの良い月に、さわやかな風が柔らかく吹いている、その中で梅の花が、美しい女性が鏡の前でおしろいをつけているかのように、白く美しく咲き、宴席は高貴な人が身につける香り袋の香りのように薫っている」というふうには梅の花を楽しんだ時の美しい様子を表現した詩のようです。この詩の内容から『令和』には、『人々が美しく心寄せ合う中で文化は花開く』という思いが込められているとのこと。

～令和に込められた安倍総理の願いとは!?～

新年号発表時、安倍首相が記者会見で「平成の時代のヒット曲『世界に一つだけの花』(SMAP)のように、希望に満ちあふれた、新しい時代を切り開いていく、若い世代が活躍できる時代であってほしい。若者がそれぞれの花を咲かせることのできる日本をつくりたい。」という思いを語りました。私たちスタッフ含め、皆さんにとって希望ある時代にしていきたいですね。

9歳までの『甘えさせ方』で子どもは変わる ～年齢別の『甘えの受け止め方』～

3～6歳 触れ合いを大事にし、存分に甘えさせる 子どもが幼いうちは、あたたかなスキンシップが大切!!抱っこは多くの子どもにとって、何よりも安心感をもたらすようです。くっついてきたり、もたれてきたり、親の体の上に乗ってきたりするの、子どもは大好きなはず!!普段はできていることも、「できない、やって～」 「手伝って～」とすることがあるかもしれません。子どもは、疲れているときや体調が良くないとき、保育園や幼稚園で嫌なことがあったりしたときは、いつもより甘えたくなるようです。グズリやかんしゃくという形で表現されることもあるのではないのでしょうか。下のきょうだい生まれた後は、赤ちゃん返りをするのも!甘えが強まる時は、子どもなりの理由があることが多いようです。そんなときには、叱ったり、「自分でできるでしょ」と突き放したりするよりも受け入れてあげることがいいそうです。そうすれば、子どもは元気になって、また自分でやりたくなるはず!!

7～9歳 子供の気持ちにまずは共感し、その後に必要な助言を 小学生になると、言葉によるコミュニケーションが大切になってきます!!

どんなときでも、子どもが何か気持ちを話してくれたら、そのまま受け止め、共感して聴くことが大切!!一方的に「あなたが悪いからでしょう」などと言ってしまうと、子どもは何も話せなくなってしまいます!子供の言い分がたとえ身勝手なものであったとしても、「そうだったんだね。それで悔しかったんだね」と、まずは子どもの気持ちを受け止めてあげることがいいそうです。親の思いを伝えるのは、その後!!気持ちを受け止めてもらった後なら、子どもは親の話に耳を傾けやすくなるそうです。『気持ち』と『行動』には区別をつけ、『気持ち』には共感しつつ、してはいけない『行動』には理由を説明しながら「それはダメだよ」と、きちんと伝えることが大切なようです。

10歳以降 距離を保ちつつ、いつでも相談に乗れる姿勢で 思春期が近づき、自己主張が強くなる一方で、まだ甘えたい気持ちもあり、親のサポートが必要なようです。友だち関係の悩みが増える時期ですが、親が口うるさく干渉すると、子どもは反発するでしょう!子どもが自分で悩みを抱え、乗り越えていこうとする姿を見守りつつ、困ったときにはいつでも相談に乗るよということ伝えていくといいそうです。

☆無料開放のお知らせ☆

5月12日(日)
13:30～16:00

★未就学児の子供さんは
保護者同伴でご利用ください。

お友達、お父さんお母さん、
おじいちゃん、おばあちゃんも一緒
に遊びにきてね!!



4/28(日)いちご狩り &
ピザづくり実施



新年度初のイベントはピザ作り&いちご狩り♪
色とりどりの個性あふれる手作りピザは
どれも美味しそう(^o^)
いちご狩りでは真っ赤ないちごを探して食べ比べてたね♪

HPでお知らせやブログ更新中♪

HP更新中!!
当スクールのHPで期間限定のお得な
キャンペーンやイベントの情報を随時
紹介しております(´▽`)
詳しくは下のQRコードで見よう!!



<http://www.jss-group.co.jp/aoyama/>